

担当教員 横山廣子				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSa02	授業形態 講義、演習	単位 2
キーワード 文化行政 伝統文化 アジア		対象学年 後期課程 1～3 年次	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語（授業概要の授業科目） 東アジア文化研究特論 I				
科目名称：英語(授業概要の授業科目) Proseminar I (East Asian Studies)				
科目の概要：日本語(授業概要の内容) 中国と周辺アジアにおける文化変容と社会				
科目の概要：英語(授業概要の内容) Cultural Change and Society in China and Its Surrounding Asian Countries				
<p>科目の目的：</p> <p>中国やその周辺のアジア各地で見られる文化変容に関わる現状を把握するとともに、それをどのようなアプローチによって研究しうるのかについて、具体的な研究事例を通して考える。</p> <p>近年の中国やその周辺のアジア諸国では、急速に目覚ましい経済発展を遂げている地域と、発展から取り残された地域を両極として、経済・社会面の大変動がいたるところで起こっている。そのような多様な経済・社会状況と絡み合う形で、各地の文化の急激な変化や喪失が生じている現実がある。政府主導で国際的な「文化遺産」登録を目指す動きが見られ、それに呼応して民族単位あるいは地域単位で「伝統文化の保存」のための活動が進められる一方で、それとは視点を異にする伝統文化に関わる人びとの営みも見られる。また、観光産業を中心とする文化の経済資源化が多く地域で進展し、それが文化のゆくえにさまざまな影響を及ぼしている。これら地域社会における文化変容の多面的な動態を理解し、分析する方法を身につけることがこの授業の目標である。</p>				
<p>学習成果・習得する技能や知識：</p> <p>中国とその周辺のアジア諸国における文化行政や文化変化の実態について学び、さまざまな要因が相互に作用するなかで、文化がどのように変化するのか、伝統文化の保存を考えるには、どのような解決すべき課題があるのかを分析・理解できるようになる。</p>				
<p>成績評価方法・基準：</p> <p>レポート（50%）および授業中の質疑応答、議論への参加（50%）に基づいて成績を評価する。問題内容を十分に理解し、根拠に基づいて適切な考察がなされているかを評価基準とする。</p>				
<p>授業内容：</p> <p>最初に、地域での文化の動態が行政や国家政策とどのように関わってきたのか、この数十年におよぶ経済・社会の変化について概観する。その後、各地の文化変容をめぐる研究事例を取り上げ</p>				

ながら、個別の事例について検討を加え、理論的総括をおこなう。講義に加えて、全員参加の議論を重視して授業を進める。

日程：

金曜 15:30 ～17:00 第一回は4月22日。2回目以降の曜日と時間は、受講生との協議によって調整・変更することがある。

実施場所：

国立民族学博物館・本館4階・第一演習室

使用言語：

日本語

準備学習：

授業において事前に指示した購読予定文献を授業までに読んでおく

関連科目・履修条件：

特になし

教科書・必読書：

関係文献を授業中に、その都度、提示する

参考書・その他の教材：

関連文献を授業中に、その都度、提示する

備考：

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可